

授業科目 性と生殖

【担当教員名】 塚本康子	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

助産診断の根拠となるように、人の性と生殖として概念、発生の機序、形態と機能について学ぶ。
また、人がその人らしく生きるために、ライフサイクル各期の性と生殖の発達や課題を理解し、セクシュアリティの看護を学ぶ。

【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】

1. 人の性と生殖の概念を述べることができる。
2. 人の発生と性分化について説明できる。
3. 生殖器の形態と構造、生殖機能を説明できる。
4. 女性の思春期と更年期における生理を具体的に説明できる。
5. 生殖に関する諸問題を説明できる。
6. 思春期のカウンセリング・ピアエデュケーションの意義を理解し、性教育のあり方を考える。
7. 自分の体を知る。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	人間の性と生殖の概念、人間の性行動	1	講義
2	生殖の形態と機能	2.3	講義
3	女性の性機能－思春期	3.4	講義
4	女性の性機能－更年期	3.4	講義
5	成熟期の性機能－家族計画	3.7	講義
6	生殖に関連する疾患	4.5	講義
7	ピアエデュケーション	6	講義
8	試験		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	助産学体系第3版 2人間の性・生殖	青木康子他編	日本看護協会出版会	2003
参考書	必要に応じ随時提示します。			
その他の資料				

【評価方法】 レポート 50点 試験 50点	【履修上の留意点】 自分の体の仕組みを知ること、また性まつわる問題を考究して欲しい。
------------------------------	---